傳設計ニュースレター
令和4年4月 発行（42号）

傳設計ニュースレター

CONTENTS

◆今、傳えたいこと
～自分の得意分野に+αを～

◆利用者の身になって
設計を行うこと

◆熊本より現況報告

◆失敗の共有

◆集中豪雨から皆さまを守る
シャッターとは
～三和シヤッター工業
株式会社様～

◆社員のメンタル不調に
どう対応するか

◆舞鶴探訪（12）

◆社員名鑑



今、傳えたいこと ～自分の得意分野に＋αを～

皆さま、こんにちは。コロナウイルスの終息はまだですが、少しずつ明るい兆しが見えてきました。昨冬、弊社では、基本的な感染防止対策を徹底した上で、これまでの1物件2名体制から、3名体制へと変更し、テレワークや自宅待機等に対応できるようにしました。今後また、このような事態になるとも知れませんので、準備はしっかりしておきたいと思います。



★会議はもっぱらリモート★

さて、私は27歳でこの設計業界に入り、30歳で独立しました。これからは世代交代も念頭に会社を経営していかなければなりません。私としては、縁あって弊社に入社した社員には、「この会社にいてよかった」と思ってもらえる会社でありたいと考えています。そのためには、心身ともに健康でいることが大前提ですが、各自の得意分野にプラスして、別分野にも興味を持ってほしいと考えています。意匠の者が設備や構造を、構造の者が意匠や設備を理解し、業務を自社で対応することです。単純に外部との対応時間の短縮になりますが、それ以上に、社内の連携強化、効率アップ、各自のスキルアップにつながると考えています。

私は構造力学からスタートをし、意匠の計画も行っています。さらに、50歳を過ぎて設備の勉強を始め、現在では設備図をより実務的な目線でチェックできるようになりました。勉強したことは役に立つ、と感じていました。その矢先、構造設計部の社員から「積算の勉強をしたい」と申し出がありました。とてもいいことだと思い、後押しをすることにしました。

私流の言葉ですが、「経験は惰性の始まり、知識は偏見の始まり」だと考えています。経験を積むと習慣になり、何も考えなくなってしまう、知識を備えるとその知識に固執し、偏った見解に陥ってしまうという意味です。そうならないように、既成概念に囚われず、周りのことに関心を持ち、多角的に物事を見られるようになってほしいと思います。知識を得、会社としてよい設計ができるようになれば、自分の自信につながります。そしてそれは、「この会社にいてよかった」と思ってもらえることにもつながっていくのではないかと考えています。（代表取締役　岩本　茂美）

岩 本　茂 美（いわもと しげみ）

株式会社傳設計 代表取締役

≪最近のこと≫

年末に、資格取得をするための学校から、一級建築士資格取得講座における、設備講座の講師依頼がありました。これも業界発展の一助だと考え、担当させていただくことにしました。一級建築士資格取得に向けて努力する学生さんの姿は、いい刺激になります。



★お昼は愛妻弁当★

傳設計 設計業務 NEW&HOT TOPIX

★利用者の身になって設計を行うこと★

先般、某団地内にある集会所の玄関ホールをコミュニティライブラリーへと改修する業務に携わりました。

ビフォーアフターの匠に憧れてこの業界に入った私は、現地打合せの際に、施工業者の方と先輩社員が現況と改修図面を照らし合わせながら、細部の納まりについて協議している姿に大変刺激を受けました。設計者として恥ずかしながら、理解が追いつかない場面も多々あり、「早く一人前になりたい」という思いを強くする機会になりました。さらに、「利用者の身になって設計を行うことの大切さ」を実感した機会でもありました。打ち合わせの中で、お施主様から「季節の飾りつけのためのコンセントが欲しい」というご要望や、施工業者様から「子どもたちの安全性を考慮してテーブルの角を取りましょう」といったご提案をいただきました。仕様書にはないことまで考えていて、この仕事はすばらしいと思いました。利用者の使い方のイメージやヒアリングが足りていなかったと感じました。



★内観イメージ図★



★改良後★

今後は、利用者の方がどのように過ごされるのかをより深くイメージしながら、ご利用者様の身になって、安全・安心・楽しく・快適に過ごせる、細やかな配慮のある設計を大切にしていきたいです。（設計部2年目 山口）



★季節の飾りつけ（イメージ）★

★熊本より現況報告★

以前、第38号ニュースレターにてご紹介いたしました本妙寺仁王門の補強につきまして、2月時点の進捗をお伝えいたします。

補強工事は現在、基礎の増設工事を実施中です。楼門の下を掘り込んで元々ある柱を固めるかたちで大きな基礎を敷地いっぱいに作っているうえ、この大きな基礎のさらに地下には新しく鋼管の杭を計53本打設しています。こうして大きな基礎を作ることにより、建物の安定性を高めることがこの補強の狙いです。



★基礎配筋の様子（1）★



★基礎配筋の様子（2）★

写真は、基礎のコンクリートを打つ前の状況です。型枠の中に敷き詰められた鉄筋の様子を見ると未だに圧倒させられます。本妙寺に限らず基礎の部分は地中に埋もれてしまい、さらにその配筋となればコンクリートを流し込んだ時点で（解体時までは）日の目を見ることは無くなります。なので歴史的建造物のこうした特別な機会に立ち会うことができたのは貴重な経験だったと思います。

以上で報告は終了ですが、第38号でもお伝えしました寄付についてはまだまだ募集しております。皆様方のあたたかいご支援を、よろしくお願いいたします。（松岡）

http://www.honmyouji.jp/niomon2020.php



★仁王門正面★

★失敗の共有★

この4月で入社して2年目になりましたが、自分なりに業務に一生懸命取り組んでいても、壁にぶつかることはしばしばです。壁と言っても、ぶつからなくてもいい壁もあります。

私は以前、福岡市以外の近隣市町村の業務を行う際に、福岡市の条例と同様だと思い込み、業務を進めてしまっていたことがありました。上司に指摘され、各市町村の条例があること気が付いたのですが、業務に取り掛かる前に、きちんと確認すべきだったと悔いました。自分の思い込みに頼ることなく、一つひとつ確認事項を洗い出すこと、直接役所にも出向き、確認することの大切さを学びました。

今回は、上司に確認をしていただいたことで、間違いに気が付くことができました。これが俗にいうヒヤリハットだと思いました。上司の確認もそうですが、社内での情報共有も大事です。失敗が社外に出る前に、修正することができ、よかったです。

社長はよく、「みんなの失敗経験を社内で共有するように」と話しています。他の人の失敗を各自できちんと理解すると、自分もその経験をしたことと同じに知識になり、失敗が減っていくということです。確かに、このような自分の失敗を詳らかにすることは恥ずかしいのですが、私の経験を他の社員が自分の経験として次に生かすということは、いいことだと思います。ただ、さすがに、今回の私のような失敗を先輩方はしないと思いますので（苦笑）、この4月に入社してきた社員にしっかり伝えていきたいと思います。（安長）



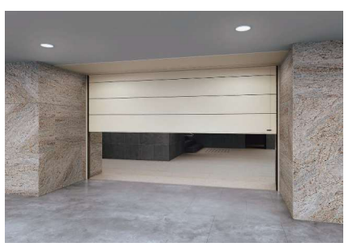


★集中豪雨から皆さまを守るシャッターとは★
～三和シヤッター工業株式会社様～ 「九州減災プロジェクト実行委員会」協賛企業

今回は集中豪雨から皆さまを守るシャッターについて三和シヤッター工業株式会社様に話を伺いました。

「数十年に一度と言われる異常気象が、昨今は毎年のように起こり、予期せぬ豪雨災害が発生し、多くの人や建物が被災しています。しかしながら、豪雨災害は地震災害等と比較すればある程度事前予測ができる災害の一つであり、対策を講じておけば人命、建物を守ることができます。弊社は、水害対策として業界初の防水シャッターを提供しており、2021年には、防災防疫製品で最優秀賞の防火防煙性能を有した防水シャッターもラインナップしています。通常は収納しているタイプの製品であり、避難、災害発生時に作動させるため皆さまがご覧になる機会が少なく、何処に設置されているのかピンとこないと思います。弊社防水シャッターは、東京メトロをはじめとする地下鉄出入口、地下街に、防水製品は、福岡天神ビックバン　天神ビジネスセンタービルにも採用されています。これからも、普段使い可能なシャッターを始めとして、いざという時に人命、建物生活を水害から守る製品開発を行い、安全・安心・快適な商品を「雨ニモマケズ」提供してまいります。」

見えにくいところですが、大きな役割をもって採用・設置されており、三和シヤッター工業様が安全・安心な社会に貢献されていらっしゃることがよく理解できます。雨の季節を前に、不安点がある方は相談されてはいかがでしょうか。（藤田）



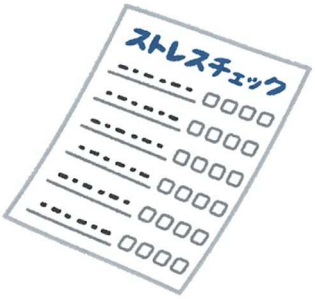
★地下街　防水シャッター閉鎖中★



★東京メトロ防水シャッター閉鎖後★

★ウォーターガード総合カタログはこちら★

★社員のメンタル不調にどう対応するか★



弊社では、社員がメンタルヘルス不調になることを防止すると共に、不調者への気づきと対応、休職者への支援等を行う心の健康づくり活動について検討しています。

私たち制度策定メンバーは、人事系の仕事をしていますが、メンタルヘルスについては無知状態でした。調べていくにつれ驚いたのは、休職中の社員が主治医から「復職可」の診断書が出ても、即職場復帰ではないということでした。不調になった社員は、病院や公的機関のリワーク支援への参加や体慣らしをし、復職の準備を行います。そして、主治医の判断を受け、本人と会社で話し合いをし、職場復帰となります。仕事に復帰したいと望む社員に寄り添い、そして、また再度体調を崩すことがないよう、焦らずに取り組める制度作りを目指したいと思います。その前段階として、日ごろから会社と社員の信頼関係を築いていくことも大事だと考えています。

心の病気は、誰でもかかる可能性があり、そのリスクを減らすため、会社ができることは何かと考えながら、制度を策定し、社員を含め会社全体で理解を深めていきたいと考えています。（古屋）

★舞鶴探訪（12）博多ひいらぎ★

今回は「博多ひいらぎ」さんをご紹介します。弊社から徒歩8分程度、福岡市中央区役所の傍のたい焼き屋さんです。いつも行列なので、開店時間なら大丈夫だろうと朝10時に伺いましたが、それでも3番目。以降、私がお邪魔している間、サラリーマンから電動自転車に乗ったママさんまで、たくさんのお客さまが来られていました。



★上品なたい焼きです★

まず、こちらのお店、シンプルでかっこいい佇まいに惹かれます。肝心のたい焼きは、40分かけて焼くそうで、皮は薄くてパリッとしています。中は、北海道産小豆を100%使用した餡が尻尾までぎっしり詰まっていましたが、甘さが控えめで、最後まで本当においしくいただけました。

代表取締役の楊さんに、他の商品について伺ったところ「小麦粉と米粉で作ったおまんじゅうも人気ですよ」と、店頭にかわいらしいきなこもちとよもぎもちが並んでいました。博多ひいらぎさんの商品、ちょっとしたお土産にも喜ばれます。ぜひ行かれてください。（古屋）

＜お店情報＞
「博多ひいらぎ」
福岡市中央区
大名2丁目4-38
チサンマンション天神3
1F

社 員 名 鑑 vol.42

編集後記／／／春になりました。暖かくなて来たのはもちろん、卒業、進学、入社と、街を歩く方々の服装からも春を感じます。個人的には、大学卒業後に入社した会社の入社式で、期待や緊張が入り混じった何とも言えない感情を持ったのが昨日のことのようですが、実際には、●十年前ということで・・・。／アンケートを同封しておりますので、ニュースレターのご意見、ご感想をお聞かせいただけましたら、幸いでございます。（古屋）

「想い・安全・未来をカタチに」
株式会社 傳設計
DEN ARCH.& ENG.OFFICE
〒810-0073
福岡市中央区舞鶴1-6-13　舞鶴DSビル
TEL:092-737-1500（代表）
FAX:092-737-1501

